

経営比較分析表（令和元年度決算）

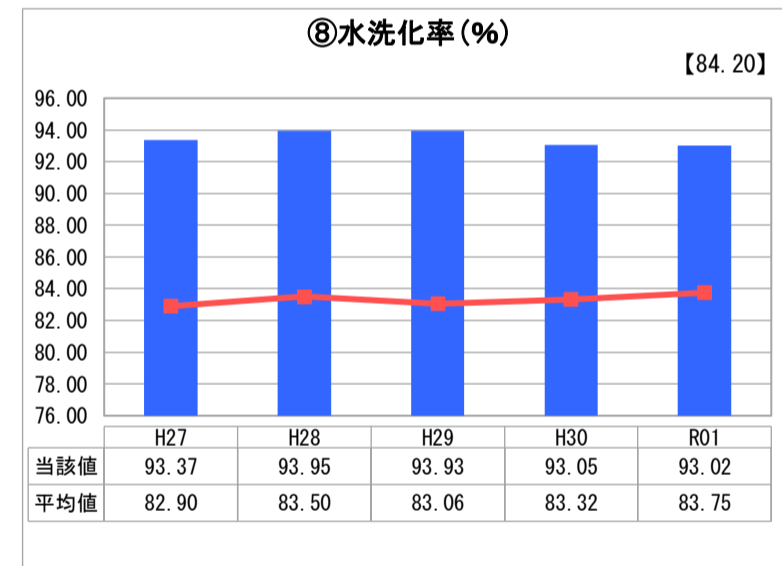
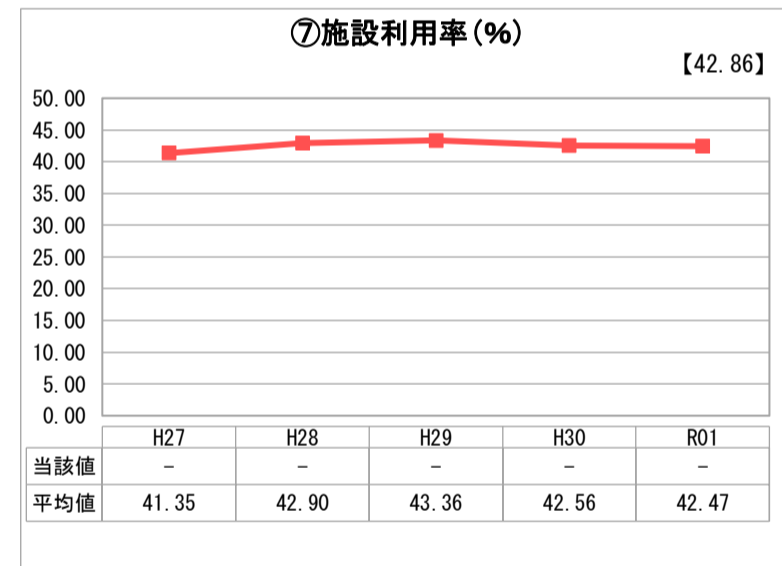
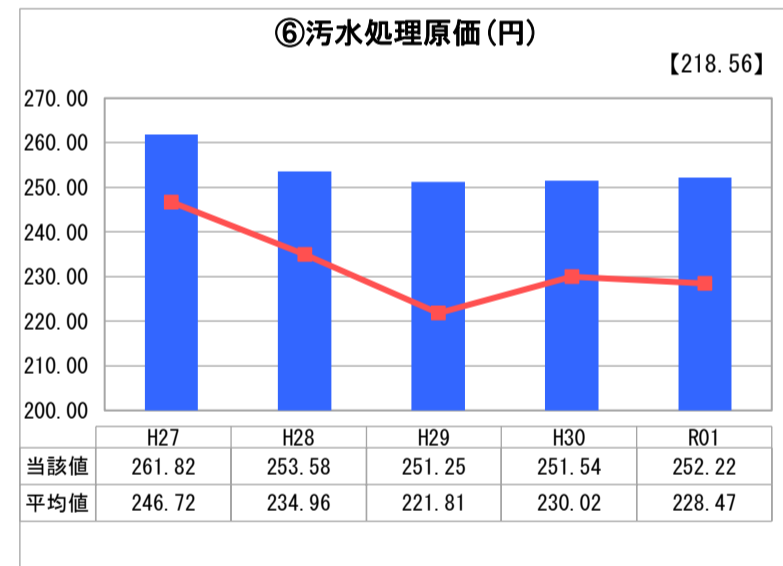
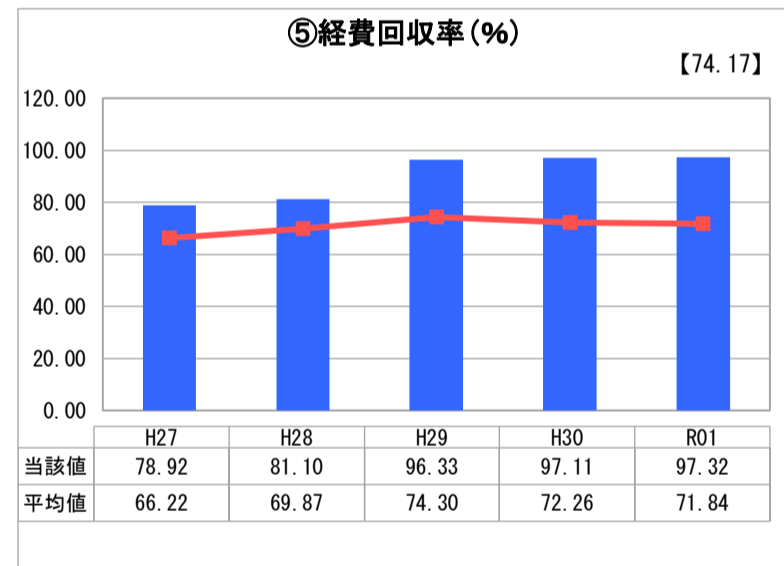
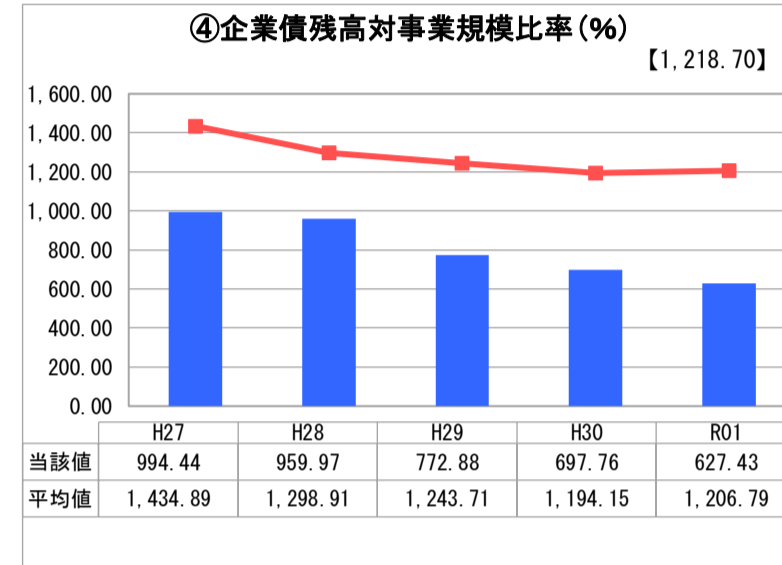
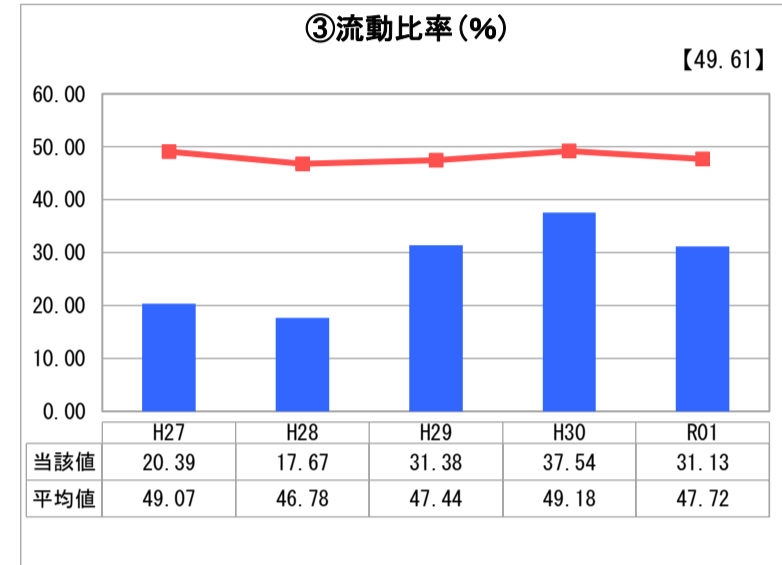
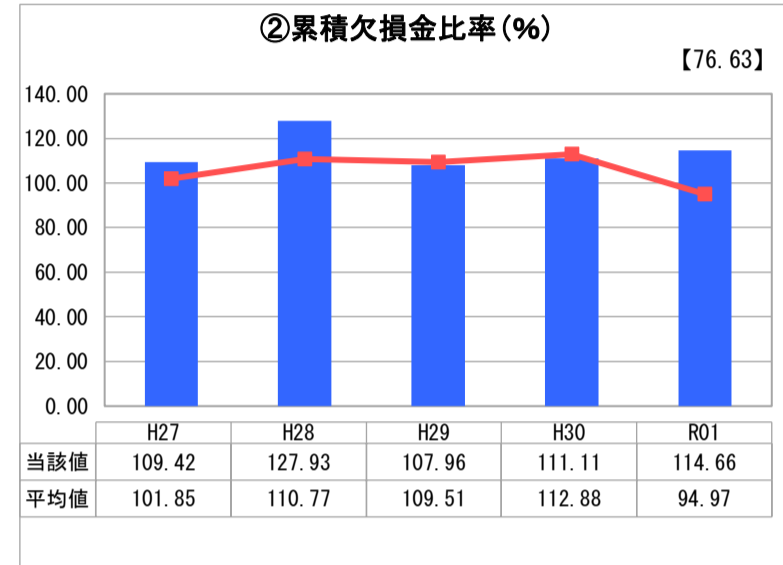
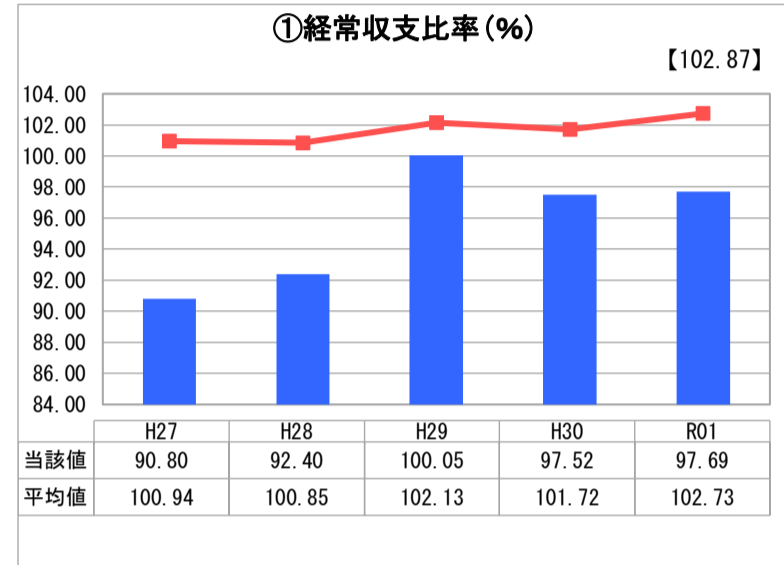
兵庫県 加東市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 特定環境保全公共下水道 | D2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 55.32 | 23.44 | 89.14 | 3,146 |

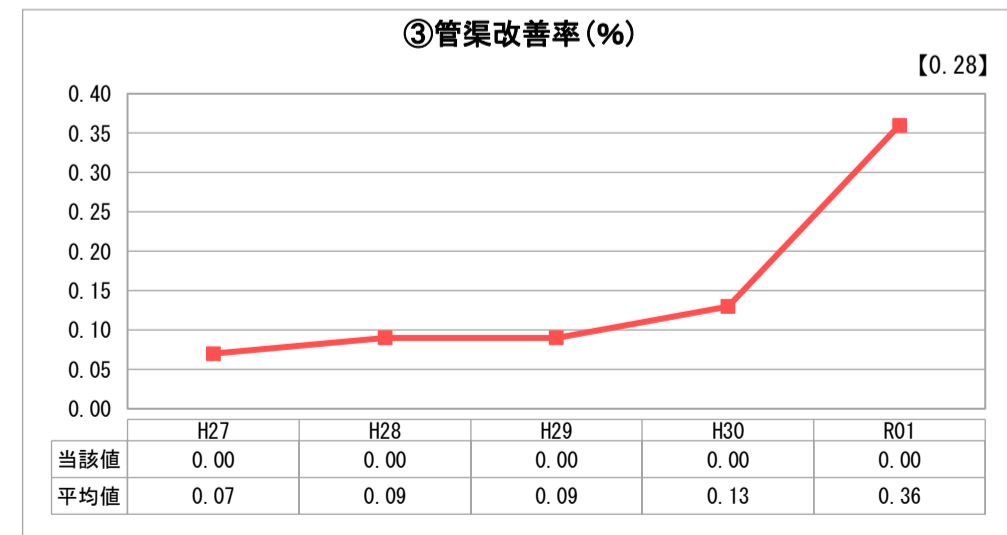
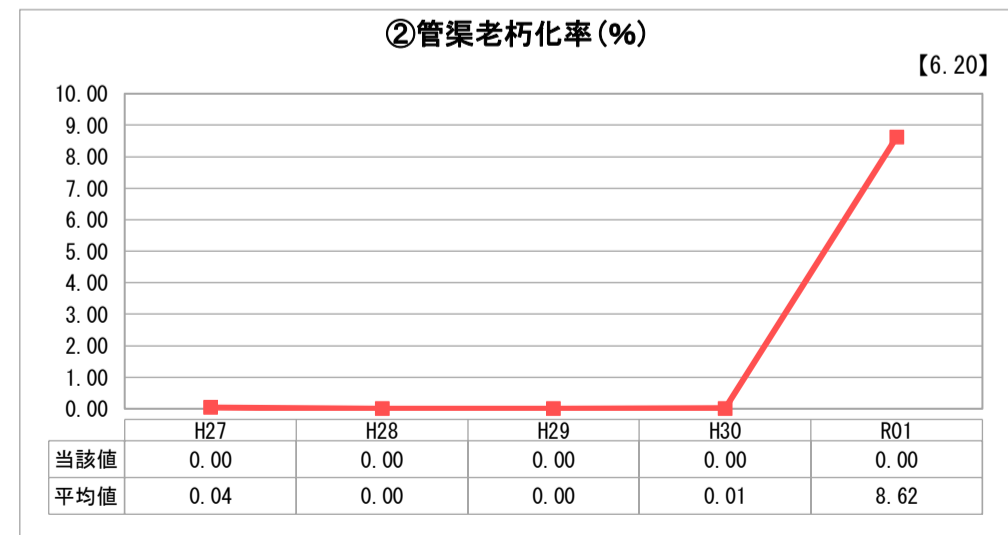
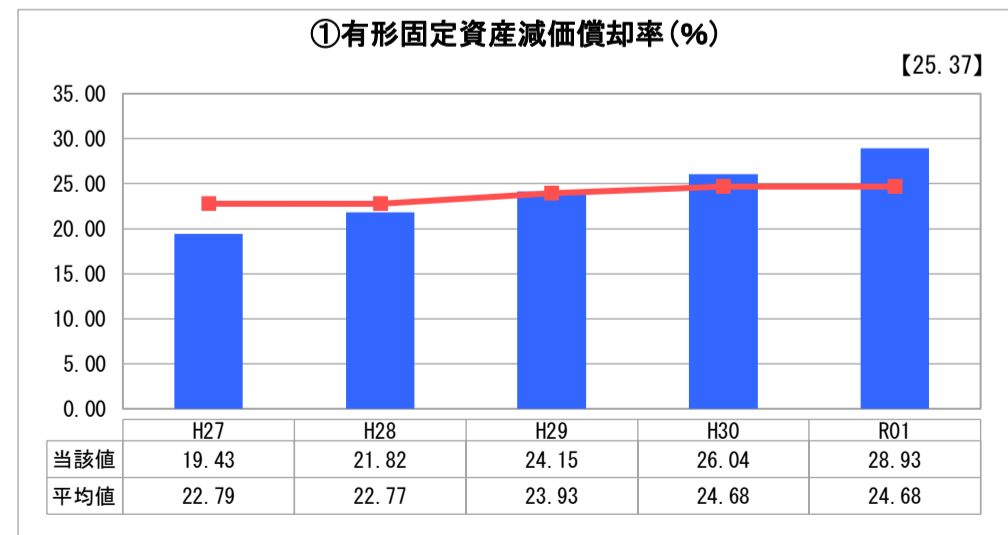
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 40,348 | 157.55 | 256.10 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 9,425 | 7.13 | 1,321.88 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は類似団体及び全国平均よりも低い。施設の老朽化に備えて、さらなる改築更新が必要であることから、引き続き経営の効率化を進めていく。
 ② 累積欠損金比率は類似団体及び全国平均よりも高い。安定した使用料収入を確保するとともに、下水道事業全体で進めている処理場統合整備事業による効率化を図ることで赤字を解消していく。
 ③ 流動比率は類似団体及び全国平均よりも低い。定期的に適正な使用料を検討するほか、国の支援制度を有効活用するなど、計画的な更新投資に備えた財源確保が必要である。
 ④ 企業債残高は減少傾向にある。計画的かつ適正な投資により、適正規模で企業債を利用する。
 ⑤ 経費回収率は類似団体及び全国平均よりも高い。経費削減に努め、さらなる経営の健全化を図る。
 ⑥ 汚水処理原価は類似団体より高く、計画的な投資や維持管理費の削減により、効率化を進める。
 ⑦ 当該事業では処理施設を保有していない。
 ⑧ 水洗化率は93%台で推移している。未接続調査による現状把握に努めつつ、水洗化の啓発を行う。

2. 老朽化の状況について

① 類似団体及び全国平均よりも高く、資産全体に対する耐用年数を経過した資産の割合は上昇している。
 ②③ 法定耐用年数を越えた管渠はない。今後の更新需要に備えて、ストックマネジメントを策定し、計画的に改築更新を進めていく。

全体総括

下水道基盤整備が短期間で行われたことにより、その財源である企業債の償還が多額となっており、収益で賄いきれない支出を一般会計からの繰入金で補填している。今後は、節水意識の向上だけでなく、将来の人口減少予測による水需要の低下が懸念され、使用料収入の減少が見込まれるため、定期的に適正な使用料を検討していく。
 引き続き、当市下水道ビジョン及び経営戦略に掲げた施策目標「持続」と「リスクの抑制」の達成に向けて、農集施設等の小規模処理施設を公共及び特定環境保全公共下水道へ接続する処理場統合整備事業等の具体的施策に取り組み、維持管理費を節減するなど、事業の効率化を図ることにより、経営の健全化を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。